

別紙2_機能要件一覧表（公開型GISデータ更新・住民通報対応基盤）

機能分類体系			要件	詳細要件・補足説明
大項目	中項目	小項目		
基本事項	サービス提供環境	機器環境	利用者及び管理者等の操作機器環境として、指定する機器環境に対応すること。	一般的なパソコン等が有する基本的な機能のみで動作が可能であるものとする。 ・パソコンのOSは、Windows11に対応し、Webブラウザは、Microsoft Edge、Firefox、Safari、Google Chromeを推奨対応とし、主要なウェブブラウザで利用が可能であること。利用環境においては、Java、ActiveX、.NET Framework等のプログラムを別途必要としないこと。必要とする場合は、その理由を明確に示すこと。
		ネットワーク環境	サービスを提供するネットワーク環境及び通信経路の暗号化について指定する要件に対応すること。提案する環境が要件と異なる場合は、その理由やネットワークセキュリティ面で問題ないことを示すこと。	利用者にサービスを提供するネットワーク環境はLGWAN接続系とすること。 クライアントパソコンが利用するLGWAN接続系のネットワークの回線速度は以下のとおり。 ・庁内LGWAN主回線：30Mbps ・庁内LGWAN従回線：30Mbps LGWAN上の通信経路においては暗号化を行うこと。なお、自治体情報セキュリティ対策の3層分離において、仮想デスクトップ環境など仮想環境にて利用する場合には、発注者はその環境を明示し、受注者は発注者と協議により、発注者の通信環境に対応すること。
		データ管理	データ管理環境について指定する要件に対応すること。提案する環境が要件と異なる場合は、その理由やデータセキュリティ面で問題ないことを示すこと。	日本国の法律が及ぶ範囲にサービス提供クラウド環境（データセンター内）並びにバックアップデータを配置すること。
			データのバックアップに関して指定する要件に対応すること。提案する環境が要件と異なる場合は、その理由やデータセキュリティ面で問題ないことを示すこと。	データのバックアップの要件は、以下のとおり。 ・本番環境搭載サーバと異なる環境にバックアップを取得すること。 ・1日1回/7世代取得すること。 ・搭載するテーマ数、搭載するレイヤ数に制限がないこと。 ・バックアップデータは、バックアップの日から1年間保有すること。
	想定利用者数	サービス利用人数	想定されるサービス利用人数は右記の通りとする。	同時接続は25ライセンスとする。ただし、利用するクライアント（端末数）には制限がないこと。また、災害対策本部設置時には、同時接続数に制限がないこと。
		管理者機能利用人数	想定されるそれぞれの管理機能の利用人数は右記の通りとする。	利用者側ライセンスに含む。ユーザ管理機能により、システム管理者を設定するものとする。
	デザイン・操作性	デザイン・操作性	表示画面上の項目配置や色使い等、誰もが利用しやすいユニバーサルなデザインであること。また、利用者およびサービスを提供する管理者双方にとって、わかりやすい操作性が確保されていること。	・ストレスなく地図遷移や画面展開が可能である等、動作速度が優れたシステムであること。 ・利用者にとって簡便で分かりやすい操作体系と機能の配置によりマニュアルを見なくても基本的な利用が可能なインターフェースとすること。 ・データ更新・住民通報基盤で作成・編集したデータを簡易な操作で速やかに公開型GISに反映できること。
		アクセシビリティ	「JIS X8341-3：2016」等のアクセシビリティに配慮していること。	「JIS X8341-3：2016」の適合レベルAAに準拠、またはそれに準ずる配慮を行うこと。
	データ移行	—	現行システム（サービス）で保有するデータを、新システム（サービス）の初期データとして移行（登録）できること。	現行システムから移行（登録）するデータは、第8章に記載のとおり。
	サービス終了時・契約満了時等の対応	保有データの提供	サービス開始後に利用者が入力した情報及び発注者が登録した情報のうち、発注者の情報管理権限を有する情報（発注者が提供を希望する情報）については、契約終了時に全て抽出し発注者に提供可能とすること。	
保有データの消去等		サービスを終了若しくはサービス利用契約終了後は、発注者が提供を希望する保有データを提供ののち、速やかにシステムから消去すること。消去においては、復元不可能な状態にすること。		
地図の種類	—	システムで使用する背景地図の種類は指定のとおりとすること。	・住宅地図（同時使用25台）	

機能分類体系			要件	詳細要件・補足説明
大項目	中項目	小項目		
	利用規約等	プライバシーポリシー	プライバシーポリシーを表示すること。	
サービス利用者向け機能	トップページ	トップページ等	利用者向けトップページが設置できること。	
	お知らせ機能	お知らせ、新着情報の表示	新着情報や問い合わせ先等の情報を登録でき、トップ画面等利用者にわかりやすい位置に表示できること。	
	利用者機能	操作説明	利用者に操作方法を示すことができること。	
管理者向け機能	管理者登録	アカウント登録・設定	管理者アカウントの登録・設定ができること。	IDとパスワードによるユーザ認証を可能とするとともに、ログイン中の端末のうち、一定時間システム操作がないものを自動でログアウトできること。なお、登録できるユーザ数には制限がないこと。管理者によるパスワードリセット（または再設定）を可能とすること。
		アカウント認証方法	二段階認証または多要素認証方法（再認証も含む）にも対応すること。	
		ロール設定	管理アカウントごとのロール設定ができること。	
	統計機能	—	システム・サービスの運用状況や利用状況を定期又は任意の時点で確認できること。	システム（サービス）の運用状況や利用状況は、定期及び任意の時点で以下を集計できること。 ・稼働率 ・現在ログインしているユーザ数 ・ログインしたユーザの数 ・ユーザ毎のログイン数
地図機能	地図コンテンツの表示	背景図	地形図、航空写真、背景用民間地図等を背景図として表示できること。また、複数の背景図の切り替えができること。	
		凡例表示	表示中のアイコン等に対する凡例を表示し、表示・非表示の切り替えができること。	
		2画面表示	異なる施設情報、地図コンテンツ及び背景図を選択した2種類の地図を同一画面内に並べて表示できること。	
			並べて表示した地図について、拡大縮小や移動等の操作を連動できること。	
		主題情報	主題情報（施設情報や地図コンテンツ等）のレイヤと背景図を重ね合わせて地図に表示できること。	
			レイヤ単位及び属性情報の分類単位で表示・非表示の切り替えができること。	
		地物の属性表示	テキスト情報などを属性情報としてアイコン、線レイヤ及び面レイヤと関連付けて設定できること。（事業者による対応でもよい。）	
			地図上のアイコン等を選択することで、属性情報を表示できること。	
			属性情報として数値、文字列、URLなどのデータ型を設定できること。	
			URLについてはハイパーリンクとして表示できること。	
	画像ファイルについては、ダウンロードしなくとも画面上に直接画像を表示できること。			
	地図上の地物の属性一覧を表示できること。			
	属性一覧画面から地物を検索できること。			
	CSV等で、地図に表示している地物の属性一覧を出力できること。また、利用者が出力項目等の設定が可能であること。			
	地図の機能	拡大縮小	表示地図の縮尺を拡大・縮小できること。	
			マウス操作により地図を拡大・縮小できること。	
		移動	地図を任意の方向に移動できること。	
			マウス操作により地図を移動できること。	
		現在地表示	表示デバイスの位置情報を利用し、現在地を表示できること。	
中心マーク表示		表示画面中心に中心を表すマークの表示・非表示切替ができること。		
縮尺表示		表示中の地図縮尺に対応したスケールバーを表示できること。		
索引図表示		表示中の地図範囲を示した索引図を表示できること。また、索引図の表示・非表示の切り替えができること。		
		索引図で指定した場所に地図表示を移動できること。		
URLによる共有		表示している地図の内容を表示できるURL、二次元コードを表示できること。		
住所・目標物検索	住所情報による地図検索ができること。			

機能分類体系			要件	詳細要件・補足説明
大項目	中項目	小項目		
			住所の表記は、全角、半角および英数字、漢数字、日本語表記、「一」「一（長音）」による表示等、想定される住所表記に対して対応できること。	
			目標物による地図検索ができること。	
		経緯度表示	地図の任意地点の経度・緯度を表示できること。	
		経緯度検索	経度・緯度を指定して位置が検索できること。	
		ルート検索	2地点間の最短経路を検索し、地図上に経路及び距離を表示できること。	
		印刷	画面に表示した地図や施設情報、地図コンテンツを印刷できること。属性情報や凡例をあわせて印刷できること。	
			都市計画等一部の地図コンテンツについて、印刷する際の縮尺を予め指定したものに固定できること。	
			コピーライトや利用上の注意等、定型文を合わせて印刷できること。	
			都市計画等一部の地図コンテンツについて、印刷する際のレイアウトを予め指定した独自の様式に変更できること。	
		ファイル出力	画面に表示した地図や施設情報、地図コンテンツを画像ファイルとして出力できること。	
		計測	マウス操作により選択した距離、面積の計測が地図上で行えること。	
			距離及び面積の計測中に縮尺の変更やスクロールができること。	
			計測結果が表示されている状態で、印刷や地図の画像を保存できること。	
		作図	地図上に一時的な図形（点・線・面等）を作成できること。	
			一時的な図形を含めて印刷・画像出力できること。	
	地図の管理	主題情報のレイヤの表示	図形情報に対応するポイント（点）、ライン（線）、ポリゴン（面）を表示できること。	
			レイヤごとに、表示する縮尺範囲を指定できること。	
			レイヤの表示順を設定できること。（事業者による対応でもよい。）	
			レイヤの色分け表示、ラベル表示を設定できること。（事業者による対応でもよい。）	
			ポイント（点）レイヤとして表示するアイコンはシステム標準のものを留意し、追加できること。	
			背景図に対し、アイコンなどの表示項目の透過度が設定可能であること。	
			線レイヤ及び面レイヤと属性情報で構成される地図コンテンツを表示できること。	
			面レイヤは、枠線や塗りつぶし部分の種類、太さ、色、透過度等を変更できること。（事業者による対応でもよい。）	
			図形（アイコンシンボル、線、面）の表示設定は、複数色、複数種類から選択できること。	
			線レイヤは、線の種類や太さ、色、透過度等を変更できること。（事業者による対応でもよい。）	
			属性情報の値に従い、ラベルを地図上に表示できること。	
			属性情報の値（角度）に従い、ラベルやアイコンを回転してを地図上に表示できること。	
			管理者で公開データの登録する場合については指定の通りとする。	<ul style="list-style-type: none"> ・Shape形式または座標付きCSVを事業者に提供することで、事業者は更新作業を行えること。 ・公開に当たっては、非公開のサイトにおいて公開データをシステム管理者が確認し、承認を受けたうえで公開できる仕組みとすること。 ・システム管理者の操作により、データ更新・住民通報基盤で更新された情報を公開型GISに反映できること。

機能分類体系			要件	詳細要件・補足説明
大項目	中項目	小項目		
			縮尺に応じて、アイコンのサイズや形状等を変更せず、画面上で一定のサイズで表示できること。 また、ラベルやアイコンは、縮尺に応じて非表示にできること。非表示とする縮尺は、アイコンごとに設定できること。	
		地図の種類	公開する地図データの種類は指定の通りとする。	
■自治体で独自に追加した要件				
サービス利用者向け機能	利用者機能	住民通報受信機能	公開型GISに送信された住民通報（位置情報、写真、コメント）を、データ更新・住民通報基盤上で受信し、一覧または地図上で確認できること。 また、通報された内容に対する進捗を登録し、処理状況を公開できるシステムであること。	
管理者向け機能	情報セキュリティ	アクセス・操作ログ	アクセスログ・操作ログを取得すること。 ログ等からシステムにアクセスした職員を特定できること。	
		システムログ	エラー情報の把握やUI/UXの改善に必要なログ情報を取得すること。	
		不正プログラム対策	システム(サービスの稼働環境及び開発・テスト環境においては、コンピュータウイルス等不正プログラムの侵入や外部からの不正アクセスが起きないように対策を講じるとともに、それら対策で用いるソフトウェアは常に最新の状態に保つこと。 システム(サービスの稼働環境及び開発・テスト環境で用いるOSやソフトウェアは、不正プログラム対策に係るパッチやバージョンアップ等適宜実施できる環境を準備すること。	
地図機能	地図コンテンツの表示	背景図	インターネット上にあるオープンデータや標準地図、災害情報等、本業務で構築するシステムの外部にある情報を取り込み、活用できること。	<ul style="list-style-type: none"> ・国土地理院等のオープンデータを活用できる仕様とすること。 ・気象庁「キキクル」等の関係機関や団体が提供する情報をリアルタイムで表示できる仕様とすること。